府中市自然環境調査　野鳥　　2024年度9月　　観察場所：武蔵台公園　　観察時間：9時30分～11時10分　　観察担当者　　多田、橋本、宮島

番号	科	名称 ＼ 天気	24年度観察数 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	観察月数	観察数合計
	観察日		10	2	12	10	14	11								
			晴	晴	晴	曇	曇	晴								
1	カモ	カルガモ	2												1	2
2	ハト	キジバト		2	5	3	4								4	14
3	ウ	カワウ													0	0
4	サギ	アオサギ													0	0
5	サギ	ダイサギ ○													0	0
6	カッコウ	ツツドリ ・													0	0
7	トビ	トビ ○													0	0
8	タカ	ツミ VU													0	0
9	タカ	ハイタカ VU													0	0
10	タカ	オオタカ VU													0	0
11	タカ	ノスリ VU													0	0
12	キツツキ	コゲラ	2	1	2	2									4	7
13	キツツキ	アカゲラ ○													0	0
14	キツツキ	アオゲラ ○	2	2	2	1	1	1							6	9
15	ハヤブサ	チョウゲンボウ VU													0	0
16	ハヤブサ	ハヤブサ VU													0	0
17	モズ	モズ VU													0	0
18	カラス	カケス													0	0
19	カラス	オナガ NT	9	4	15	7	4	8							6	47
20	カラス	ハシボソガラス		3	6	2	38	12							5	61
21	カラス	ハシブトガラス	3	3	10	7	19	15							6	57
22	シジュウカラ	ヤマガラ ○	2		2	1									3	5
23	シジュウカラ	シジュウカラ	13	11	9	6		12							5	51
24	ツバメ	ツバメ	3	3	4	3									4	13
25	ツバメ	イワツバメ NT													0	0
26	ヒヨドリ	ヒヨドリ	16	9	17	17	3	3							6	65
27	ウグイス	ウグイス ○	2					1							2	3
28	エナガ	エナガ	5		10										2	15
29	メジロ	メジロ	3		2	1		4							4	10
30	ムクドリ	ムクドリ	7	2	149	17									4	175
31	ビタキ	シロハラ													0	0
32	ビタキ	ツグミ	1												1	1
33	ヒタキ	ルリビタキ													0	0
34	ヒタキ	ジョウビタキ													0	0
35	ヒタキ	コサメビタキ VU													0	0
36	ヒタキ	キビタキ													0	0
37	スズメ	スズメ													0	0
38	セキレイ	キセキレイ													0	0
39	セキレイ	ハクセキレイ													0	0
40	アトリ	アトリ													0	0
41	アトリ	カワラヒワ													0	0
42	アトリ	シメ													0	0
43	アトリ	イカル NT													0	0
44	ホオジロ	ホオジロ NT													0	0
45	ホオジロ	アオジ													0	0
観察種数 月／年			14	10	13	12	6	8	0	0	0	0	0	0	16	

カルガモ

ヒヨドリ

ムクドリ

オナガ

コゲラ

ガビチョウ

月	24年度コメント
4	野鳥も恋の季節を迎え、ウグイス、シジュウカラの囀りがあちこちで聞こえた。アオゲラのドラミングも聞こえた。夏鳥であるツバメが舞い始めていた。一方、冬鳥のツグミがまだ残っていた。昨日の暴風雨で木の芽などが落ちたためか、地面で採餌するムクドリやカワラバトの群れが見られた。どこから来たのかカルガモの番も地面で採餌していた。キジバト、ハシボソガラスの姿が見られなかった。
5	木の葉が鬱蒼と茂り、林の中は暗く感じた。ヒヨドリは全く鳴かないため、突然目の前に現れることが数回あった。シジュウカラの囀りはまだ続いていた。ガビチョウは繁殖したようで、大きな囀りが聞こえ、一家らしき集団が目の前のフェンスや枝に止まっていた。一方、同じ環境に生息するウグイスの囀りは全く聞こえず、繁殖できているか気にかかる。
6	全地域にムクドリが飛び交い、薄茶の幼鳥も混じり、大集団になっていた。1本の木に集合するとムクだらけの木になり、互いに鳴きかわす声で賑やかだった。松林の上空でオナガが飛び交い、松の中に枯れ枝の巣が有り、その周辺に集まっているように見えた。繁殖行動の可能性があり、次回も注視したい。コゲラに続き、エナガが現れ、幼鳥が混じっていた。樹間をヤマガラが餌取をしていた。ウグイスの声が無いのが気になった。
7	曇りではあったが、気温は33℃まで上がり、蒸し暑かった。暑さのためか、鳥影は薄く、特に、メジロ、シジュウカラなどの小鳥は少なかった。そんな中、ヒヨドリ、ムクドリ、オナガが比較的多く観察できた。コゲラが木の低い所で採餌していた。アオゲラは鳴声のみで姿は確認できなかった。ガビチョウが一家で飛び回り、声高らかに鳴いているのが目立った。それに引き換え、ウグイスの鳴声が全く聞こえなかったのが気になった。
8	今日も府中市には熱中症警戒アラートが発表され、WBGT31危険。暑さのためか、野鳥の出現が少なく感じた。今日はオナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラスなどカラス科の出現が多かった。何れの個体も、暑さのため口を開けて呼吸していた。そんな中で突然の「ケッケッケッ」とせわしなく鳴くアオゲラの大きな警戒音が2回聞こえた。
9	外気温が久しぶりに34℃になり、体温調節しながらの観察となった。ガビチョウとカラスの仲間が飛び回るのが目立った。ハシブトガラスがまだ未熟なミズキの実を啄んでいた。オナガがハシボソガラスを追い払うように追尾する姿が見られた。木の葉の間からアオゲラの警戒する声が響き、巣立ちした雛に親鳥が声掛けしているのかと気になったが姿は確認できなかった。
10	
11	
12	
1	
2	
3	

注1：表の最下段は月ごとの観察種数と年間の観察種数。
注2：名称欄記号は、2023年度東京都レッドデータ、北多摩のカテゴリー表示。

外来種

観察月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ｶﾜﾗﾊﾞﾄ		50			3								
ｶﾞﾋﾞﾁｮｳ		2	6	5	4	2	3						
ｿｳｼﾁｮｳ													
ﾎﾝｾｲｲﾝｺ													

レッドリスト表示について

名称欄に東京都レッドリストのカテゴリー表示を行った。カテゴリー表示の条件を以下に示す。

2023年版　東京都レッドリスト
対象地域　北多摩の評価による

カテゴリー名称	表示	基本概念
絶滅危惧ＩＡ類	CR	ごく近い将来における野生で絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ＩＢ類	EN	ＩＡ類ほどではないが、ごく近い将来における野生で絶滅の危険性の高いもの
絶滅危惧Ⅱ類	VU	現在の状況をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」としての上位ランクに移行する要素を有するもの
ランク外	○	前回2010年版に掲載されていて今回の改定によりレッドリストから外れた種
非分布	・	主要な生息地でないという理由から対象外とされた種